

報道機関各位 ニュースリリース

2011年10月13日

モビカ、スマートフォン向け AR（拡張現実）+Location Service、『A-ROKE™』を発表 ～現実の映像に様々な要素を付加した魅力的なサービス空間を提供～

株式会社モビカ（本社：東京都品川区、代表取締役：鈴木 寛至、以下：モビカ）は、Android 及び iOS 向けロケーションサービス「A-ROKE™」（AR+ Location Service：以下：A-ROKE™）を開発し 2011 年 10 月 13 日よりサービスの提供を開始いたします。

A-ROKE™は、AR（拡張現実）機能と端末に搭載されている GPS（位置情報）を利用して、空間上にマッピングされたタグ情報やアニメーションなどの画像データをアプリケーションに配信・表示することができます。これにより、利用者は位置情報に応じて取得したデータや画像をカメラで撮影したり、空間に配置されたタグなどの情報を見るなどのサービスを受けることができます。アプリインターフェースデザインのカスタマイズや外部 API 連動も可能であり、お客様のニーズに合わせて提供していくことを前提に柔軟にサービス設計を行うことができます。

◆A-ROKE™の特徴

- ・ GPS（位置情報）を元にマッピングされた 3D 画像やアニメーション、ニュース、AR タグ情報などのオブジェクトをカメラ上に再生、撮影に対応。
- ・ 撮影した写真データの保存、赤外線、メール添付、facebook、Twitter などへの外部ソーシャルメディアへのアップロードに対応。
- ・ カメラ上に表示されるオブジェクトからの URL リンクや動画再生、簡易ゲームの再生。
- ・ 雑誌などの印刷媒体やモニター上に表示される AR マーカ画像を読み取りによる 3D 画像などのオブジェクト表示対応。
- ・ AR オブジェクトの設定やシステムを使ったデータ配信及びユーザの管理が可能。
- ・ サービス用途に応じてインターフェースのカスタマイズや機能、システムの拡張が可能。

◆A-ROKE™システムを利用したサービス例

- ・ 位置情報を利用したイベントやクーポンチケット発行
- ・ 位置情報を利用したゲーム／ソーシャルゲーム
- ・ キャラクターや芸能人とのバーチャル撮影など
- ・ 公共施設やアミューズメント施設での AR タグ設置など

- ・写真フレームアプリへの画像配信／更新
- ・AR マーカによる画像認識／表示など



*詳細については添付資料を参照ください。

■株式会社モビカについて

モビカは、あらゆる携帯デバイスに向けたサービスを提供するモバイル・インテグレータです。すべての製品及びサービスは、ユーザのためにあるという信念のもとに、高品質・高機能、かつ「ヒトが心地よく使える」サービスの開発を行っています。従来型携帯電話向けサービス開発における豊富な経験とノウハウを活用し、アプリ／サイト開発からモバイル活用によるブランド構築まで、様々なソリューションを提供いたします。

詳しくは、<http://www.mobika.jp/>をご覧ください。

◆本件に関するお問い合わせ

- ・ サービスに関するお問い合わせ先

技術部 上條 TEL : 03-4530-6333 E-mail : mobi_tech@mobika.jp

- ・ 本プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社モビカ <http://www.mobika.jp/>

事業管理部 TEL : 03-4530-6330 / E-mail : info@mobika.jp

(添付資料)



Android OS、iOS スマートフォン向け AR (拡張現実) + ロケーションサービス

■A-ROKE 基本概要

項目	仕様
◇再生機能	<ul style="list-style-type: none"> ・画像タグ ・アニメーションタグ ・ユーザ投稿タグ ・AR マーカでの再生
◇撮影／保存	<ul style="list-style-type: none"> ・写真撮影／データ保存／メール添付／赤外線送信 (*Android 赤外線搭載機種) ・ソーシャルメディアへのアップロード
◇配信機能	<ul style="list-style-type: none"> ・クーポンの配信 ・ゲーム／ソーシャルゲーム ・音声配信 ・動画のアップロード ・広告・CM の配信
◇AR タグ	<ul style="list-style-type: none"> ・位置情報 <p>緯度・経度を保持し、ユーザの現在地との相対位置に表示。 ユーザからの方角、距離を計算し、カメラ上に表示。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オブジェクト整理 <p>AR タグのリスト化や表示切替えなどのオブジェクト整理が可能。</p>
◇インターフェース	<ul style="list-style-type: none"> ・AR タグは、画像もしくはアニメーションを設定可能。 フレームレートはカスタマイズ可能。 ①画像／PNG 形式 ②アニメーション／PNG 形式 ③Flash 再生 ・カメラインターフェースのカスタマイズが可能。
◇タップ時の動作	<p>AR タグをタップした際の動作に以下の項目を設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報のポップアップ表示 (ポップアップビューのカスタマイズ)

	<ul style="list-style-type: none"> • Web サイトへのリンク (AR タブタップ時に指定 URL の表示) • 動画の再生 (アプリ内保持/YouTube 動画/ストリーミング再生) • その他カスタマイズ動作 <p>例：アイテムをコレクションゲーム等で、タップした AR タグ情報をサーバに送信してユーザのコレクションに追加などの動作が可能。</p>
◇AR タグの位置情報	<ul style="list-style-type: none"> • アプリ内保持 <p>AR タグの位置情報を予めアプリ内に設定して位置情報を固定。(イベントや特定の建物などの紹介などの利用時)</p> <ul style="list-style-type: none"> • サーバからの取得 <p>AR タグの位置情報を、リアルタイム又は、特定の時間でサーバから取得します。(AR タグの位置が変動する場合やユーザ同士で AR タグを投稿など双方向に表示・閲覧での利用)</p> <p>※位置情報の決定はサービス用途により設計カスタマイズ可能。 (管理ツールを導入/独自のロジックに基づいて位置情報を決定可能)</p>
◇動作環境	<p>Android OS 2.3 以上を搭載した端末 (GPS サービス、方位センサが利用可能な端末)</p> <p>iPhone 3GS および iPhone 4 の iOS 4.3 以上を搭載した端末</p>

※AR (拡張現実) とは

AR(Augmented Reality)拡張現実 (かくちょうげんじつ) とは、現実環境にコンピュータを用いて情報を付加提示する技術、および情報を付加提示された環境そのものを指す言葉。バーチャルリアリティと対を成す概念。強化現実とも呼ばれ、現実の環境 (の一部) に付加情報としてバーチャルな物体を電子情報として合成提示することを特徴としています。合成提示される電子情報はアノテーションと呼ばれ、アノテーションは現実環境中の特定の物体に関する説明や関連情報を含み、説明対象となる実物体近くに提示されることが多い。このため、拡張現実を実現するための技術として使用者が対象を観察する位置など現実環境の情報を取得する技術が基礎技術として重要視されています。

※株式会社モビカのロゴ、名称は日本国における登録商標です。

※AROKI ロゴ、名称は日本国における商標です。

※その他、文中に記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。